

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:令和 5 年 3月 30日

事業所名:すこやかキッズスタジオ垂水

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	訓練別、人数に応じたスペースを適切に確保し、安全を第一にした空間作りをおこなっている。	多数で”はい”という意見がありました。”わからない””どちらともいえない”という意見も少数ありました。	引き続き必要な物を適切に配置し、安全なスペースの確保に努めていきます。
	2 職員の適切な配置	子ども10名に対し過半数以上の職員を配置している。	多数で”はい”という意見がありました。”わからない”という意見も少数ありました。子どものことをよくわかっていると思います、という意見もありました。	緊急の時などでも適切な人員の配置をおこなっていけるよう、引き続き改善をおこなっていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	目的別にフロアを区切り、利用者に視覚でわかりやすい区切りにしている。施設内は段差をほとんどなくした環境を整えている。	”はい”という意見が多かったが、”わからない””どちらともいえない”という意見も少数ありました。	利用者に視覚的に分かりやすい環境を整え、指示が伝わりやすい環境作りをおこなう。またできる限りのバリアフリー化に努めていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃や、玩具や教材等のアルコール消毒を定期的におこない、清潔を保てるようにしている。療育に集中できるようシンプルな環境を整え、棚や机の角にクッションを付けるなど安全には十分配慮をおこなっている。	多数で”はい”との回答をいただいているが、”わからない””どちらともいえない”という意見も少数ありました。	引き続き各職員に対して清掃、消毒を徹底しておこなうよう周知をおこない、清潔で安心して過ごせる環境作りをおこなっていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎朝のミーティングや申し送り、カルテなどの確認をおこない、共通意識、目的をもって利用者への支援をおこなっている。		引き続き、各職員に周知をおこない、取り組んでいきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現時点では実施していない。		第三者による外部評価は実施していないが、利用者や保護者の方が安心して利用できるよう業務内容の改善、向上に努めていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月の虐待防止、安全運転チェックリストでの自己確認、研修会議などを定期的実施している。		十分な時間を取り定期的な会議、研修をおこなっていく。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者へのモニタリングでの聞き取りをおこない、それを基に職員間での話し合い、ニーズや課題を分析、計画書の作成をおこなっている。		保護者へのモニタリングや送迎時、面談での聞き取りをおこない、ニーズに沿った計画を心掛けて作成をおこなっていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団での取り組みや個別の課題を計画書に盛り込み、子どもの発達段階に応じた計画を、職員間での話し合いの上、作成している。	多数の方から”はい”との回答をいただいています。”わからない””どちらともいえない”という意見も少数ありました。	個々の成長と集団での取り組みに合う活動を、子どもの発達段階や苦手な分野の克服に繋がるよう計画書を作成していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	職員への聞き取りや会議をもとに作成したアセスメントに基づいて、子ども一人ひとりに応じた目標、支援項目を設定している。		保護者に分かりやすい具体的な支援内容の設定をおこなっていきます。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	子どもの発達状況に応じて職員が計画内容の伝達、周知をおこない情報共有して、個々の支援を実施している。	多数で”はい”という回答を頂いています。	変化する児童の発達状況を把握し、職員が子どもの目標に合った支援ができるよう日々改善に努めて実施をおこなっていきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	報告や周知ができるような時間を作り、職員全体で療育内容の把握や、プログラムの提案をおこなっている。		各職員が時間や環境に合った提案をおこない、職員全体でより良いプログラムを提供できるように努めていきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日や長期休みの時など、事前に利用希望をとり、空きが出れば希望の方に連絡するなど、出来るだけ要望に沿った利用をして頂ける様に配慮している。	多数で”はい”という回答を頂いているが、”どちらともいえない” ”わからない”という回答もありました。	出来る限り保護者、子どものニーズに沿った支援を心掛けていきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	個別、全体でのプログラムをおこない、流動的なプログラムの実施をおこなっている。		プログラムが固定化しないよう、日々の利用者の状況や環境を把握して個々、全体の活動を実施していきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼や昼礼での口頭での伝達、また出社時に職員に目を通してもらう利用者への連絡事項や変更事項などの確認を徹底しておこなっている。		引き続き朝礼や昼礼時に職員への伝達をおこない、支援内容や役割分担の確認をおこなっていきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	些細な事柄でも報告をおこなうよう各職員に伝えている。また、気が付いた点などを記録する書類など、職員間で情報を共有している。		気づいた事の記録や、些細な事柄でも報告をおこなうよう連携を取り、職員間での情報の共有化を引き続きおこなっていきます。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の子どもの健康状態の把握や、食事や活動状況などの記録をおこなうと共に、職員間の話し合いの時間を設け、検証して改善策を考え継続して実施をおこなっている。		利用者の日々の健康状態や活動に対して職員全員が気を配り、支援についての記録をおこない、検、改善できるよう努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に計画、モニタリングの見直しを実施している。		利用者一人ひとりに適したサービスであるか、定期的にモニタリングや計画の見直しをおこない、実施していきます。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	可能な限り予定を調整して、積極的に参加している。		できる限り参加をおこなっていきます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし		該当なし
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし		該当なし
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者や関連施設の希望、意向を調査し必要であればその都度、実施をおこなっている。		保護者や各施設と連携しながら、十分に情報共有ができる体制作りをおこなっていきます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	該当なし		該当なし
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて実施している。		今後とも参加できる機会を増やしていきます。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は実施していない。	”はい” ”わからない”という意見が多く、”いいえ” ”どちらともいえない”という意見も少数もありました。	機会があれば今後検討していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在は実施していない。	保護者用の評価表に該当する項目はありませんでした。	機会があれば今後検討していきます。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用前の契約時に、説明をおこなっている。	多数の評価で、“はい”との回答を頂いています。契約内容が変わる時などいつも説明して頂いています、という意見もありました。	引き続き保護者に対して、丁寧でわかりやすい説明をおこなっていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画書を提示しながらの説明、支援内容を伝えている。	多数の評価で“はい”との回答を頂いています。少数で“わからない”という意見もありました。	より詳しく丁寧な支援内容の説明ができるように、引き続き検討、改善をおこなっていきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	送迎時や電話での対応を、その都度おこなっている。	“わからない”という回答が半数ありました。次いで“はい”“いいえ”“どちらともいえない”という回答でした。	保護者が相談しやすい環境や時間を作っていけるよう、検討、改善をおこなっていきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎日の送迎時に報告、意見交換と電話での相談での共通理解に努めている。	多数の方から“はい”という回答をいただいています。	引き続き保護者へこまめな報告をおこない、共通理解を徹底していくよう努めます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	希望があれば随時相談を受け付け保護者やご家族の支援を実施している。	“はい”という回答を多くいただいているが、“わからない”“どちらともいえない”“いいえ”という回答もありました。	保護者が相談しやすい環境を作っていくように、引き続き検討、改善をおこなっていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していない。	“わからない”と言う意見が半数ほどあり、次いで“どちらともいえない”“いいえ”という回答でした。特に必要としていないという意見もありました。	現段階では、父母会等の実施予定はありません。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	対応、報告体制を整えており苦情があった際はそれに沿った調査、報告、保護者への説明を行っている。	多数で“はい”という意見をいただいておりますが“わからない”という意見もありました。	迅速に明確な対応が出来る様、引き続き体制を整えていきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	児童や保護者の特徴を捉え状態にそった分かりやすい連絡帳での伝達と送迎時での報告に努めている。	多数の方から“はい”という評価をいただいています。少数で“わからない”という回答もありました。いつも様子を教えてくださいたいと思いますという意見もありました。	児童、保護者の状態を把握し、より分かりやすい情報の伝達に努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	実施していない。	”はい””わからない”という意見が多くありました。少数で”いいえ””どちらでもない”という回答もありました。	今後でもできる限りの情報発信に努めると共に、改善できる点は検討していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の扱いについての同意書を保護者に頂いた上で、個人書類の保管等や守秘義務の徹底に留意している。	ほぼ全員の方に”はい”という回答をいただいています。	引き続き、研修などで書く職員に周知、再確認をおこない、個人情報の保護に努めていきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	策定を行い職員への周知はおこなっているが、保護者への通達は一部しかおこなっていない。	”はい””わからない”という回答を多くいただいているが、”どちらともいえない””いいえ”という回答も少数ありました。	保護者への通達を書類や口頭でおこなうなど、周知徹底できる様、改善を進めていきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に二回、定期的に火災、地震と災害に応じた訓練を実施している。	”わからない”を多くいただいている、次いで”はい””いいえ””どちらともいえない”という回答をいただいています。	継続して避難訓練を定期的におこない保護者への報告、伝達もおこなっていきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	入社時に虐待防止をはじめとする研修をおこない一カ月に一度、定期的な研修もおこない調査、課題の提示、改善、職員への周知をおこなっている。		今後も定期的な研修の実施と毎月のチェックリストの実施をおこなっていきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	計画書に記載をおこない、保護者にも十分な説明をおこなっている。		引き続き保護者へ十分な説明と理解をいただけるよう努めていきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの聞き取りを行い医者からの資料や意見書を基に注意事項や環境の徹底をおこなっている。		食物アレルギーに対して十分に留意し、保護者からの聞き取りをおこない、間違いが起こらないよう確実にアセスメント反映し、全職員で周知徹底をおこなっていきます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	毎日、職員同士や資料を見て事例を周知する時間を設け、共有している。		引き続き朝礼や昼礼などで支援内容の役割分担を確認をおこない周知徹底をおこなっていきます。